

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R4年 12月 18日 (18:00~19:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー Y・Y・E・N・U・I 計6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	1人	人	12人

前回の改善計画
*初期支援のケアの関わりは全体を通してまだまだ希薄である。初めてここに来られる利用者や初めて自宅へ他人をお招きする利用者は不安と混乱でいっぱいです。まずは少しでも安心していただける様、それぞれがもっと関わることを意識し、事前に分かっている情報のほかでも新たに知り得たその方の情報は、即時的に初期支援ノートに記載し、スタッフ間で情報の共有を行い、サービス開始直後の関わり強化を目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果
①初期支援ノートへの記載はよくなされている。状態確認、現状把握は詳細に記載されている。 ②初期支援の重要性はスタッフに浸透してきている。 ③前半は初期支援ノートに細かく記載されているが、月の半分を過ぎるころから内容量が乏しくなっている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	8	3		12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		11	1		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	9	1		12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		6	6		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	○事前ミーティングやケアマネからの情報提供で情報共有は出来ている。 ○気づきがあれば、ミーティング等でサービス内容を検討し必要な支援が出来ている。 ○送迎時の会話で積極的に話しかけ関係性の構築に努めていた。 ○初期支援の時期は特に気を配っていた。 ○不安があると思うので笑顔の対応、失礼のない態度に心掛けている。 ○家族の希望、思いを受け止めたスタッフが報告の場を利用して情報共有し、サービス提供につなげている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	○シフトの関係上初期支援の利用者とお会いする機会が少なかった ○コミュニケーションが足りない ○会話が表面的で本音・本心の情報収集が上手に行われなかった。 ○家族とお会いするスタッフが限られているので直接的な思いを受け止められない ○本人との関係作りに遠慮してしまう。○訪問限定のゲストさんと意思疎通に時間がかかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	*初期支援の重要性を今以上に重く受けとめ、まずは利用者に対する関心を示すこと。その関心を示していることを、本人、家族にしっかり分かってもらえるよう表現力、伝達力を意識していく事。また、利用者の情報収集に関しては、その方のエピソード、プロフィール、生い立ち等にも力を入れて収集するだけでなく、その情報を調べ学習し関係性構築のツールとしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R4年 12月 18日 (18:00~19:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー Y・Y・E・N・U・I 計6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	3人	2人	12人

前回の改善計画

*スタッフ全体で日々の『～したい』の聞き取りや実現は共有できているが、ケアプランを通した当面の遠い目標を理解できているスタッフが少ない。再確認も含めスタッフは必ずケアプランに目を通し、在宅生活を継続する上で何を目標としてケアをしていくかをスタッフ間で統一認識できる様にし、その方のゴールに向かって方向性のばらつきがないようにしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

ケアプランに目を通すが長期目標に対して理解しているスタッフは少ないまま推移してしまった。短期目標の『～したい』と長期目標を混同してしまっているスタッフもいるので、ことあるごとに長期目標の確認作業が必要と思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		3	6	3	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		8	3	1	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		4	6	2	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		5	4	3	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

○自立支援に心掛け出来る事は本人に行っている。 ○『～したい』の聞き取りは出来ている。
 ○ケアプランを参考にして当面の目標は理解できている。 ○『～したい』は会議等で情報が入り行動に移すことが出来た。 ○一部の利用者ではあるが実現できている。 ○事例の共有で次に活かした。
 ○レクリエーションや生活リハビリを介してゴールに近づくよう努力した。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

○業務を優先してしまい、思いの実現に手が回らなかった。 ○ケアプランの確認を怠った。
 ○生活面での『～したい』には対応しているが楽しみ面での『～したい』には対応できていない。
 ○声なき声を聴こうとしなかった。もしくは理解できていなかった。 ○自立を促す前に介助してしまう。
 ○長年接している利用者だとケアプランに目を通すことがなくなった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

基本に戻りケアプランの確認を徹底すること。会議時には一人でも良いので利用者のケアプランを確認する時間を作るようにし、短期目標と長期目標を理解していく。また、成功事例の情報をスタッフ全員で共有していく時間を作り『～したい』の実行に職員が意欲を持ってもらうように努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R4年 12月 18日 (18:00~19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー Y・Y・E・N・U・I 計6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	5人	人	12人

前回の改善計画
<p>*以前の暮らし方や、趣味、人間関係など日頃のコミュニケーションや訪問時にふと気がついたことなど、本人の情報を知る機会が多いが、情報の共有ができず、スタッフ個人で持っているその方の情報には偏りがある。もっと簡易的に気軽に情報発信ができるよう、サービス個人ファイルに人物像の用紙を追加し、スタッフが日頃知り得た情報を気軽に書き込めるようにし、見る側も視覚的、作業的にも簡単にアクセスできる様にする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>センター方式を活用するまでには至らなかった。その分申し送りノートへの記載量が増え、情報を得る機会となっている。スタッフ個々人の所有している情報の量・質の隔たりを解消する取り組みは未だ手付かずなので来期の課題といたします。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3	5	4	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	11			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	6	4	1	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		10	2		12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		9	3		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>○基本的介護はしっかりできている。 ○経験を重ね声なき声を少し汲み取ることが出来るようになった ○日々の関わりの中で関係性を築き体調不良や気持ちの変化に気づき医療機関へ繋げることができた。 ○ゲストの体調に合わせてサービスを柔軟に変更することが出来た。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>○「以前の暮らし方」を10個以上把握できていない。把握しようとしていない。 ○声にならない声を聞き取る技量がスタッフごとに偏りがある。 ○業務優先で利用者の変化に気付けない ○申し送りの量が多く週3日の勤務では把握しきれない。 ○以前作った個人ファイルに新しい情報の書き込みがされない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>サービス個人ファイルに空のファイルを挟み、そこに各個人が知りえた情報を走り書きでも良しとして、気軽に書き込めるような職場雰囲気を作っていく。ある程度情報が集まった段階でケアマネ等が文章にまとめていく。また、「以前の暮らし方 チェック項目」を作成し、情報収集に対して意識付けを図る。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R4年 12月 18日 (18:00~19:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー Y・Y・E・N・U・I 計6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	6人	人	12人

前回の改善計画

*本人がサービスを利用していない日はどのように過ごしているかを把握しているスタッフが少なかった。24時間365日切れ目のないサービスを提供できるのが小規模多機能なので、日頃からその方のサービスの利用のない日でもどの様に生活しているかなど、生活全体を捉える視点を養う様にす。

前回の改善計画に対する取組み結果

スタッフごとに利用者に対しての関心度に関心が有り、常に利用者を気に掛けているスタッフも居れば、そうでもないスタッフも居ます。全職員の意識のレベルアップと利用者に対する関心度を上げて、利用の無い日でも気に掛けることが出来る職員を増やしていくことを今後の課題として引継ぎます。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		8	4		12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないうちに支援していますか?	1	5	5	1	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	5	2	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	8	2	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

○他のスタッフや申し送りノートを見て情報を知ることが出来ている。
 ○家族とのコミュニケーションは重要と考えているのでそれなりに出来たと考えている。
 ○ご近所の方ともコミュニケーションと取っている。
 ○個人ファイルを参考にしながら、利用者との関りを多く持ち生活スタイル等を把握している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

○改善計画の取り組みが出来ていない。 ○出勤日が少なく生活スタイルが分からないときがある。
 ○利用者が休みの日にどう過ごされているのか余りに掛かっている。
 ○問題は把握しているつもりだが、どう行動していいかわからない。
 ○民生委員や地域の資源などの利用は無かった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

当面続く事が予想されるコロナ禍での利用者や地域、事業者と地域のこれまでと違う関わり方を検討する。利用者や地域との関係性が今以上に希薄にならないよう最低限維持できるよう努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R4年 12月 18日 (18:00~19:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー Y・Y・E・N・U・I 計6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	3人	2人	12人

前回の改善計画

*本人の新たな課題や変化は必ずミーティングの議題に上がってはきている。ただ、カンファレンスを行い実践項目が決まっても、日々の実践記録が希薄で評価がしにくい。次のミーティングでも評価がなかなか上がってこないのが現状。まずは実践記録を簡潔に確実に言い、ミーティング時には必ずモニタリングができるようにし、本人の新たな課題や変化に対応できるようにしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

新たな課題、変化に対しての実践記録はまだまだ充実したとは言い難い。記録が充実していないので、その後のミーティング、モニタリングも充実してこない。変化や課題の抽出には一定の力を発揮しているので、次のステージへとステップアップできる仕組み作りが課題となって来る。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		4	6	2	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	5	3		12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	7	3	1	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	8	2		12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

○他事業所と連携を行い、ニーズに合わせたサービスの提供ができた。 ○課題をそのままにしている。
 ○3つの機能を適切に組み合わせながらサービス提供ができた。 ○柔軟性のあるサービス提供
 ○実践項目の変更等はノートに書き込んでいる。 ○日々の申し送りで変化等の情報共有ができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

○地域資源の活用は出来ていなかった。 ○今年は近所の公園くらいしか利用できなかった。
 ○業務ばかりに気を取られ、利用者の変化、ニーズの見落としや、把握が充分出来ていなかった。
 ○ミーティング等で決定したことが実践できていない。 ○医療体制が希薄で素人判断になっていた。
 ○ミーティングに参加できなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

まずは、月一回のミーティング時にケアの実践に対しての「振り返り」を行う時間を設定していく。そこで職員間の情報共有と小さな成功体験の疑似体験を積み重ねていくことを目標設定とする。個人面談を充実させ、変化への気づきや本人の強み、可能性の見つけ方をコーチングしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R4年 12月 18日 (18:00~19:00)

6. 連携・協働

メンバー Y・Y・E・N・U・I 計6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	4人	4人	12人

前回の改善計画

*前年度に引き続き、コロナ禍でなくなれば、流しそうめんや餅つき大会など自治会と共催できるイベントは力を入れてやっていきたい。イベントを通して自治会活動の活発化や地域の関係性の発展に繋げていきたいと考えます。

前回の改善計画に対する取組み結果

今年度は新型コロナウイルスの流行によりイベント等の実施はなく課題に対してのアプローチもできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		1		11	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1		11	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		2	2	8	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	3	1	7	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

○医療機関や福祉用具等の他事業所連絡会や会議はこの状況下ではよくやっていると思える。
○事業所内ではあるが工夫を凝らしてイベントを行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

○イベント自体が開催されておらず参加できていない。
○コロナ禍で出来る事が制限され殆どの項目で出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

現時点（蔓延防止対策中）での新しいスタイルを検討する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R4年 12月 18日 (18:00~19:00)

7. 運営

メンバー Y・Y・E・N・U・I 計6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	4人	3人	1人	12人

前回の改善計画	<p>*月目標は毎月必ず更新しているが実践にはスタッフ間にばらつきがある。今まではホワイトボードへ月初めに手書きで記入していたが、全体的に小さく、分かりにくいいため、A4サイズでフロアに掲示し視覚的にもスタッフ間で意識できるようにし、実践を行い次回会議で評価を必ず行う。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>月目標の掲示方法変更は確実に実施されています。会議での評価を行うことも実施はされていますが、一部の職員にとって形式的な取り組みになってきている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	4	3	4	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	7	1	1	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	5	4	2	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		6	1	5	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>○目標に向けて行動しているスタッフの数が少しずつ増えてきている。○フロア会議で評価の実施 ○同じ事が起きないように改善策を考えている。○家族からの意見・苦情は必ず上長へ報告している。 ○近所の方とコミュニケーションをとっている。○地域の美化に努めている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>○運営の事まで考えたことがない。○地域との協働の仕方が分からない。 ○月目標を意識出来ない月もあった。○目標に対して積極的に行動できなかった。 ○意見や苦情からなるべく避けていた。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>職員の意識付けのため、利用者、家族、地域からの意見や苦情の検討会を実施する。 コロナ禍で考えられる地域との協働を模索していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R4年 12月 18日 (18:00~19:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー Y・Y・E・N・U・I 計6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	3人	1人	3人	12人

前回の改善計画

*今年度より事故が発生した場合はその日いるスタッフでまずはショートカンファレンスを開催することと、メールで全スタッフへ事故の内容を配信することを行ってきた。フロア会議ではそのメールをもとに事故の対応策等の検討を行ってきたが、時間がなく有意義な意見交換ができていない。次年度はメールで事前に受け取ったメールに対し、個々で対応策や解決案を考え、フロア会議前の議案書に記載することでフロア会議でより効率的に対応策を検討できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

メール配信はタイムリーに行われており、確実に成果も上げている。事故への関心、再発防止への意識付け等醸成してきている。フロア会議前の議案書記載も会議運営を効率的にしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	2	2	5	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	1		8	12
③	地域連絡会に参加していますか		1		11	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	4	3	4	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

○メール配信が充分機能している。 ○研修には出来るだけ参加している。
○同じ事故が起きないように必ず内容を確認している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

○研修の開催自体がされていなかった。 ○研修の開催が極端に少なく参加していない。
○事故等時間の経過とともに意識が薄くなって行ってしまった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

事業計画書に記載した年5回の内部研修の確実な実施。法人本部からリスクマネジメント委員会委員長やスキルアップの為の人材を派遣してもらい個人個人のレベルアップを図っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R4年 12月 18日 (18:00~19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー Y・Y・E・N・U・I 計6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	5人	2人	人	12人

前回の改善計画
<p>*「ここで待っててください」など声かけ一つとってもスピーチロックとなり、不適切なケアや身体拘束になり得る可能性があることや、日々の業務のなかでお互いが見落とししていないか心配な声がスタッフから上がった。次年度は権利擁護委員会（虐待防止、身体拘束ゼロ、プライバシー保護）を発足し、日頃のケアの事例検討や継続的にスタッフが意識できるよう勉強会の開催や検討報告を行っていく。委員の選出は GH も含め各フロア代表1名、委員長はホームマネージャーとする。定期的な委員会の開催およびスタッフからの相談役としての機能を持たせる。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>安全対策・権利擁護委員会の立ち上げを行い、委員で話し合いを重ね、次年度は内部研修を予定している。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	7	5			12
②	虐待は行われていない	8	4			12
③	プライバシーが守られている	5	6	1		12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	8	2	2		12
⑤	適正な個人情報の管理ができています	6	6			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ○一つ一つのケアに対して身体拘束や虐待では？という意識をもって接していた。 ○申し送り時利用者から離れ、インシヤルトーク、隠語等を使って小声で行っている。 ○拘束、虐待は絶対にしてはならないものだとして認識している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ○委員会の設置に至っていない。 ○家族以外の人に情報を伝えてしまったことがある。 ○スピーチロックはまだまだ完全になくなっていない。 ○成年後見制度に対して理解がされていない。 ○「〇〇さんが失禁して」等のプライバシー発言がまだある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>前回の改善計画を継承し、「権利擁護委員会」を発足させ機能させていく。また、成年後見制度等の制度に関しても学ぶ機会を設けていく。</p>	

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	4		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	4		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	4		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

【改善計画】 ※後日記入

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	4		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	2		2
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	4		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 外から見る限り感染防止対策がなされている。
- 徘徊防止の対策がなされている。
- 騒音や異臭等はみられない。

【前回の改善計画】

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

【今回の改善計画】 ※後日記入

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	職員はあいさつできていますか？	4		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	3		1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	3		1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	3		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 今は地域の行事がなされていないのでわからない。
- 自治会の資源回収活動などに協力している。
- コロナウィルス流行の為、思っていた活動が出来ていなかったと思います。
- 自治会の役員会に参加して欲しい。

【前回の改善計画】

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

【改善計画】 ※後日記入

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	3	1	
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	2	1	1
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	2	1	1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	1		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 地域の美化活動をしている。
- 現在主だった活動は休止中の為わからないことがある。
- 会議などはコロナで休止中である。写真等の掲載で内部がわかりやすい。
- ウィーンホールでのイベントへは参加して頂けた。
- 街並み清掃は素晴らしい。

【前回の改善計画】

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	4		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	2	1	1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	3		1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	4		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

○コロナで現在会議が中断しているので記入なしとします。

【前回の改善計画】

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	2	2	
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？			4
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	2	2	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

○現在、地域の防災訓練は中止していますし事業所はコロナ渦の影響で単体で行っている。

【前回の改善計画】

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人愛成会	代表者	平本千恵子
事業所名	ゾイン愛成	管理者	岩崎 拓馬

法人・事業所の特徴	法人理念である「愛生相和」を基にお互いが助け合い、支え合い感謝の気持ちを持ってサービス提供を行うことをスタッフが共有して実践できるよう心掛けています。また、利用者の「生きる意欲や喜び」「癒し」の充足に努めると共に、地域密着型サービスを提供する事業所としてご家族、地域の方たちに愛され、信頼される施設される施設作りの為、地域の清掃活動や自治会活動への参加など様々な取り組みを行っています。
-----------	---

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	(書面)1人	人	(書面)2人	人	人	(書面)1人	人	6人	人	10人

項目	前回の改善計画			前回の改善計画に対する取り組み・結果			意見			今回の改善計画	
	A. 事業所自己評価の確認	常勤職員メインで評価検討を行っているが、時間調整の難しいパート職員に関しては、事前に個別で時間を設け意見聴取しておく。	コロナ蔓延の中、対面での会議開催を控えたため、活発な意見交換が成されず、多少停滞気味な感はあるが、年間を通した評価はきちんとして行うことができた。	書面による報告の為、特に意見無し。	定期的な実践評価を行い、情報収集、整理、発信する意識を高めていく。						
B. 事業所のしつらえ・環境	メインの玄関施設は行わず、職員の見守りを強化して行っていく。 玄関前の花壇は利用者や地域の方が楽しめる様継続して行っていく。	感染防止の為、メイン玄関の出入りは制限せざるをえないので、一時的に施設しています。花壇等の環境整備は引き続き継続して実施していく。	<ul style="list-style-type: none"> 外から見る限り、感染防止策がなされている。 徘徊防止の措置が取られている。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ対策として、事業所内の設備の消毒や換気を根拠よく実施していく。 外壁等の清掃にも力を入れ実施していく。 							
C. 事業所と地域のかかわり	日頃から関わりを持つことで、相談などがし易くなるかと思えますので、引き続き信頼関係の構築に努めたい。	不要不急の外出制限等により、地域との関わりは薄れてしまった。また、行事等の開催が皆無であったため評価出来ず。	<ul style="list-style-type: none"> 今は地域の行事おこなわれていない。 自治会の資源回収活動などに協力している。 コロナで活動が出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でも比較的感染リスクの少ない月2回の清掃活動や資源回収活動などを中心に地域と関わっていききたい。 							
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	訪問回数も増えている中、利用者の住んでいる地域での生活が支援できるように、職員全体で協力して継続していくよう努力していきます。	コロナ禍だからと言って訪問回数に大きな減少は無かったが、行動制限により地域行事やイベント自体が開催されず殆ど活動できなかった。	<ul style="list-style-type: none"> 今は休止中です。 地域の美化活動をしている。 地域包括支援センターと協力して近所の心配な方に関わっていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動制限の中でも出来る事を探し、利用者や地域との関係性を維持できるように努める。 							
E. 運営推進会議を活かした取り組み	GH や職員が参加できるように周知・説明を行いシフト調整等も考慮して参加人数を増やしていく。	すべて書面による報告になったため評価できません。	<ul style="list-style-type: none"> コロナで現在会議中断ですので記入なしとします。 	書面の報告でも事業所の取り組みや雰囲気分かる様に工夫していく。							
F. 事業所の防災・災害対策	疑似煙幕を利用しての夜間想定訓練を行いたい。	前回の改善計画は緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置のため実施できます。	書面による報告の為、特に意見無し。	BCP について地震等の災害だけでなく、新型コロナウイルス感染症に関しても見直し、検討を行っていく。							